



*** 賀 新春 (BONNE ANNEE)**

皆様、お元気に穏やかな新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。調査機関 Ifop によりますと、フランス人の 96%が、新年の挨拶で健康を祈るそうです。(96% des Français associent leurs vœux à une bonne santé)



そして 35 才未満の若い人達の 86%がメールで新年の挨拶を交わし、65 才以上の人たちの大半は、従来どおりカードなど賀状を郵送しているとのこと。

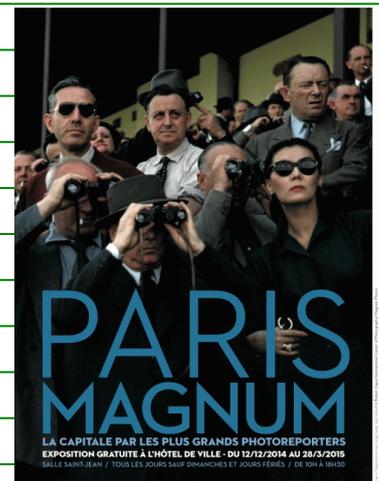
こちらの元日 (le jour de l'an) は、日の出が 08 時 44 分、薄暗い中にも黒雲の間から初日の光も強く、朝の気温はマイナス 2℃、周囲の屋根に白く霜が降りて、日中は 2℃で曇天、日の入りは 17 時 01 分でした。「寒の水飲んで生命のあたたかさ」暖炉に暖かく火が燃えているのでしょ、どの煙突からも煙が出て、大気に薪が燃える匂いが漂い、何か懐かしく感じられますが、この煙が車の排気ガス以上の公害だそうで、実はこの正月から暖炉で火を焚くことが禁止されるはずでしたが (Dès le 1er janvier, fini les feux de cheminée : ils pollueraient encore plus que les voitures) それでは余りにも情緒が無い、と反対の声が大きくなって、法案はペンディングとなりました。

正月 2 日、3 日、4 日と濃い霧が辺りを覆い、午後には 10℃と寒さが和らぎ、偶に雪の予報があっても雨で、今冬は未だ雪を見てません。風向きも東風となって、飛行機の航路が変り、この窓からも遠くオルリー空港へ次々に離着陸する飛行機の姿が眺められます。地中海沿いの南仏では裏山一帯に 1 ヶ月も早くミモザが咲いた、との便りに、早春の香りを感じました。

今日 11 日からは 17 日迄の 1 週間、クリスマス・年末大売出しで売れ残った商品をベースに“大棚さらえ”の「ソルド」(Soldes)が始まり、どの店のショーウィンドーにも -30%、-40%、、、中には 70%引きなどと大きく書かれたビラが貼られて賑わいますが、掘り出し物があるのでしょうか、日本も主に関西地区から個人的な商いをする人達が大勢やって来て“買出し”の風景も見られます。大規模な国際展示会として知られる“家具調度展”(《 Maison & Objet 》 le salon de la mode maison) も 23 日から 27 日迄開催され、愈々新年が明ける思いです。

“パリ・マグナム”写真展 (Expo. 《 PARIS MAGNU

相互の作品を尊重し、保護していく為に 1947 年に創設されたフォト・レポーター達の集まり“マグナム・フォト”に所属するロベール・キャパ、アンリ・カルティエ・ブレッソン、レイモン・ドパルドン、ジョセフ・クデルカ、マルク・リブー、マルタン・パー等著名な写真家 80 余名が捉えた 1932 年から今日に至るパリの街の様子、知られざる小路の奥、そこに住む人達の間人らしい姿、歴史的な出来事、戦い、、、観光的なパリではなく、パリっ子のパリ (le Paris des Parisiens, avant le tourisme ,,,) 、パリの都市としての変遷 (une ville qui



se transforme)、等々150枚余りのクリシェを展示しています。

日曜祭日を除く毎日10時—18時30、パリ市庁舎サン・ジャンの間で3月28日迄、入場無料。新市長マダム・イダルゴ (Madame Hidalgo, maire de Paris) が開催する初の展覧会です。(Hôtel de Ville, salle Saint Jean, 5, rue Lobau, Paris 4e – Métro 'Hôtel de Ville')

*自転車利用者に罰金 (LES CYCLISTES A L' AMENDE)

冬の寒い間は多くは見掛けませんが、各都市に自由に利用出来るレンタルのシステム Vélib が出来てから、自転車利用者“サイクリスト”が俄に増加して、交通道徳が問題化しています。歩道上を我が物顔に走ったり、信号無視、一方通行を逆走、、自動車の様に違反を罰せられることは、むしろ稀な事ですが (les cyclistes sont moins verbalisés que les



automobilistes)、自転車にも交通規則があります。交通安全委員会 (CNSR(Conseil national de la sécurité routière))によると、自転車利用者の88%は違反を犯し(88% des cyclistes ont commis une infraction à vélo)、パリっ子に至っては全て許されていると解釈している、と云うより、規則など何も無い、と思っているようです。バスや緊急車専用レーンが設けられている道路では、自転車もそこを走るように規定されていますが、バスの前を、レーンの真ん中を、後ろにバスが近付いていることを知りながら、まるで権利を主張するかのよう、端に避けるどころか、左右にお尻を振り振り漕ぐ足を速めて逃げ切ろう、、とするような光景によく出会い、バスの運転手も乗客もイラつくことがあります。

そこで警視庁では、安全上の理由で、今春から取締りを強化、違反者には罰金を科すことを改めて発表し、注意喚起を行なっています。罰金額は、例えば歩道上を走る(Circulation sur le trottoir)、信号無視(Non-respect de l'arrêt au feu rouge ou à un stop)、一方通行を逆走(Rouler en sens interdit)、酒気帯び走行(Circulation sous l'emprise de l'alcool)、等々に対しては90から135ユーロ、通行の邪魔となるような駐輪(Stationnement gênant)、右折左折の合図を怠る(Tourner sans mettre le bras dans le sens du virage)、電話で通話しながらの走行(Téléphoner à vélo)、二人乗り(Avoir un passager sur son vélo) (幼児を除く)、等は22から35ユーロ、そして無灯火の場合(Défaut d'éclairage)は11ユーロ、、、となっています。尚、ヘルメットは15才未満の子供にのみで、現在の所一般のサイクリストに着用は義務付けられていないとのことですが、事故による大怪我の70%は頭蓋骨打撲なので、着用が勧められています。(70% des blessures très graves chez les cyclistes sont des traumatismes crâniens) これから春に向けて道も滑りやすく、皆様も十分にご注意下さい。

*木の枝 (LES BRANCHES)

木の枝、大きな木でも灌木でも、季節により様子が変わります。既に何回か書きましたが、秋から冬に掛けて全ての葉が散ってしまうと、木には黒々と太く細く枝ばかり、その後ろに普段は葉に隠れて見えなかった景色が現れたり、小鳥の巣や、丸々とヤドリギが付いていたり、、そして今は春に向けて芽が少しづつ赤く膨らみ始め、枝がピンと上へ向いていく様子を眺めているだけでも元気が湧くようです。好い詩を見付けました。

「春の枝に花あり 夏の枝に葉あり 秋の枝に果あり 冬の枝に慰あり」(内村鑑三)

*2015年(平成27年)1月11日(日曜日) Saint Paulin 日の出08時41・日の入17時15
天気：パリ朝夕5°C/日中9°C曇天、ニース：7°C/17°C晴天、ストラスブール：4°C/8°C曇天
皆様、お元気で平穩無事な年であります様、心より祈願致します。今年もよろしく、菅